

ひまわり在宅サポートグループ

阿部理絵（正看護師 / ナースインホームひまわり）

- 功 績** ひまわり理念に則り行動、同一法人の施設がコロナ対応で人員不足に陥っている中に率先してヘルプ対応を名乗り出て勤務。理念実現に貢献した功績。
- 推 薦 者** 在宅部長 大友悠平
- 推 薦 理 由** 全国的なコロナ流行で自施設もコロナ対応で通常よりも休めない中、休日返上でヘルプを名乗り出ていただいた事は非常に頼もしく、慣れない施設でも柔軟に勤務したことは一定以上のスキルがあったからこそだと思います。特にひまわり理念の一部である”石巻健育会病院としおんとの連携”の実現に大きく貢献できた事である為、理事長賞候補として推薦いたします。

内 容

阿部はH29年にひまわり訪問看護ステーションに入職、勤続は浅いものの、バイタリティがあり、向上心もある事から一時期は管理者を務め訪問看護ステーションをけん引しておりました。縁あってR4年7月からはナースインホームひまわりに異動し勤務しております。

今年も全国的なコロナ流行から石巻地区でもクラスターとなる施設が増加しております。R4年11月に、同一法人施設の介護老人保健施設でクラスターが発生。経験の無い感染拡大から現場の看護職員も感染対応に追われておりました。介護老人保健施設のマネージングディレクターから看護師のヘルプ要請があり、即座にひまわり在宅サポートグループ内から人員ヘルプの募集を募った、月半ばの為、すでに勤務日が決まっており、ヘルプはどうしても休日出勤の可能性が高い状況でした。そんな中、阿部は率先して休日返上でもヘルプを名乗り出て、手上げ。実際にクラスター中の介護老人保健施設にヘルプ勤務をしてくれました。その際、阿部は「お互い様ですから」という事で細かいことは要望せず迅速に対応にあたりました。

結果、阿部は緊急的に3日間の勤務をし、対応にあたりました。ヘルプ先の介護老人保健施設からは評判良く対応していたと伺っております。同じ看護業務とはいえ、普段は在宅医療・介護施設の業務を中心に従事しており、施設での対応という慣れない業務でしたが柔軟に対応。特に新型コロナウイルス感染症の蔓延している所にヘルプで行くという不安も持ち前のバイタリティではねのけ前向きに勤務していました。過去、訪問看護ステーションの所属の際は人員不足もありオンコール当番を出来る職員が少ないという事もあり、当番を月20日以上受け持ったことがある職員で、“ここぞ”という時に踏ん張ってくれる頼もしい存在です。